

## 埼玉県 O-60 サッカー選手権大会要項

O-60 運営委員会

1. 名称 2026年度 第3回埼玉県 O-60 サッカー選手権大会 兼 YASUDA カップ
2. 主催 (公益財団法人) 埼玉県サッカー協会/埼玉県シニアサッカー連盟
3. 主管 埼玉県シニアサッカー連盟/O-60 運営委員会 (以下運営委員会)
4. 協賛 株式会社 YASUDA
5. 期日 5月から6月の日曜日/祝祭日等の開催を基本とする。
6. 会場 埼玉県内のサッカーグラウンド 他
7. 参加資格 (1) 年度中に満 **59** 歳以上 (翌年 4 月 1 日以前生れ) になる選手。  
(2) 当該年度に日本サッカー協会に登録し、かつ埼玉県シニアサッカー連盟に会員登録した選手。  
また、試合当日は JFA 選手証または登録選手一覧を必ず持参し、本人確認のために提示できる準備をしておくこと。  
※持病等 (特に心臓疾患) ある選手がプレーする場合は、必ず医師等の第三者の確認をとる。
8. 参加チーム 埼玉県シニアサッカー連盟の O-60・1 部/2 部リーグに在籍 (登録) しているチームとする。
9. ユニフォーム 埼玉県 O-60 のユニフォーム (ピンク・白) かチーム統一のユニフォーム (白と色違いの 2 着) を着用  
※ウェア/パンツ/ストッキングは、ホーム側のチームは白以外、アウェイ側のチームは白を着用する。  
(理由) 接触プレー/競り合い等の混濁した局面でも審判が適切な判断・判定をし易くするため。  
※インナー上・下は、ユニフォームと同色で無くても可とする  
※フィールド上のキャプテンは、識別できるアームバンドを着用する
10. 競技規定 (1) 当該年度 (公財) 日本サッカー協会競技規定による。  
(2) 交代して退いた選手が交代要員となって再び出場することができる。
11. 懲罰 (1) 当該年度 (公財) 日本サッカー協会懲罰規定による。  
(2) 本大会で退場 (1 試合 2 回警告による退場含む) を命じられた場合  
①本大会で退場を命じられた者は、次の 1 試合に出場できず、それ以後の処置については、フェアプレー・規律部会で決定する。  
②前①の退場による出場停止は、本大会における直近の試合で消化するが、本大会で消化できない場合は、チームが出場する他大会 (JFA/KTFA 主催大会を除く) の直近の試合で消化する。選手権の交流戦は、懲罰を消化する試合には含まない。

- (3) 本大会中、累積警告を2回受けた場合（選手権の交流戦含む）
- ①本大会中に累積警告を2回受けた者は、次の試合に出場できず、それ以後の処置については、フェアプレー・規律部会で決定する。
  - ②累積警告による出場停止は、本大会以外には適用されない。
- (4) 累積警告による出場停止は翌シーズンに繰り越さない。

## 1.2. 競技方法 (1) 16チームによるトーナメント戦を行う。

- ①トーナメント表は、前年度のO-60選手権1～4位チームをシードし、他は抽選により決定する。  
【シードチーム】1位：パルス、2位：さいたま倶楽部、3位：BTS-C、4位：新明SC
- ②時間内で勝敗が決しない場合は、PK方式（5人）により勝敗を決定する。  
なお、5人で勝敗が決しない場合、サドンデス方式を採用し、勝敗を決する。
- ③敗者チームによる交流戦（PK方式による勝敗決定は無し）を行う。

## (2) 試合時間（原則アディショナルタイムは設けない）

全試合の試合時間は50分間（前・後半各25分間）とし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。

※クーリングブレイク、GK/FPが負傷しすぐにフィールド外へ移動することができないと主審が判断した場合はアディショナルタイムを適用する。但し、前後半各3分を上限とする。

また、アディショナルタイムの表示は行わない。

## (3) 下記の場合は不戦敗扱いとする。

- ①チーム事情により棄権となった場合。
- ②試合開始時刻までに試合成立人員7人に満たない場合。
- ③未登録選手が出場した場合。（後に発覚した場合も適用）
- ④埼玉県シニアサッカー連盟フェアプレー・規律部会で決定された出場停止処分中の選手が出場した場合。

## (4) 1回戦8試合、2回戦4試合、準決勝、3位・4位決定戦、決勝戦、及び敗者チーム同士の交流戦を実施する。

〔交流戦〕1回戦負け8チームは各チーム2試合。2回戦負け4チームは各チーム1試合。

これにより1回戦負けチーム、2回戦負けチームとも合計3試合になる。

## (5) メンバー表は、試合開始45分前に大会本部へ提出する。

## 1.3. 審判

### (1) 2回戦までの審判員は、O-60運営理事会で策定した組合せ表にて定められた割当てにより、各チームから計4名の帯同審判員にて行う。

また、審判員資格4級以上の保有者による対応を原則とする。

なお、主審担当審判員には、審判員資格3級以上の方を割り当てるように努めることとする。

### (2) 準決勝戦・3位決定戦・決勝戦については、埼玉県シニアサッカー連盟・審判部会による派遣審判員にて行う。

但し、第四審判員に関しては、審判部会からの要請があった場合、O-60運営理事が行う。

### (3) 注意事項

- ①本部から審判カードを受領する。
- ②審判服を着用する。
- ③試合開始10分前までに選手の用具等を確認する。
- ④試合開始時間を厳守。

- ⑤試合中のメンバー交代は、用具チェックのみで背番号確認はしない（交代時間短縮）
- ⑥試合結果を本部に報告する。

#### 1 4. マッチコミッショナー及び警告・退場者等の報告

- (1) マッチコミッショナーは、「マッチコミッショナーの任務とチェック項目（競技用）」を確認して試合に臨み、試合終了後速やかに報告書を作成する。  
特に、ミーティングで、参加する全ての者に対し「リスペクト・フェアプレーに徹する」ことを指示する。
- (2) マッチコミッショナーは、警告、退場者が出た場合「警告、退場者累積記録」に記入し、60リーグ運営委員長に報告する。
- (3) 60リーグ運営委員長は、60 運営理事へ報告し、試合翌々日までに埼玉シニアサッカー連盟フェアプレー規律部会長に「退場・警告累積記録」を提出する。

#### 1 5. 当番チームの役割

- (1) 当番チームは、選手権日程表（当番日）に基づき、次の項目について円滑かつ誠実に行うとともに、各試合のマッチコミッショナーを補佐する。
  - ①メンバー表を試合開始 45 分前までに受け付ける。
  - ②マッチコミッショナーに対し、「マッチコミッショナー任務・チェック項目表及び報告書」を手渡して、試合前のマッチ・コーディネーション・ミーティングを促す。
  - ③その日のリーグ戦終了後、マッチコミッショナー報告書・選手登録・審判記録カード・リーグ戦結果を取りまとめリーグ運営委員長に提出する。リーグ運営委員長は速やかに連盟ホームページ担当者へ送る。
  - ④当番チームは、次節当番チームに必要用具の引き渡しをする。  
A E D・ボール・副審用フラッグ（2本）・テント（3張り）等必要用具及び記録用紙等必要書類  
※担当理事・リーグ運営委員長は、リーグ戦で必要な書類（選手登録書、審判員記録用紙）を各チーム監督・連絡担当者へメールで配付し準備する。
- (2) 雨天等による試合中止は、グラウンド責任者とリーグ運営委員長とで協議し決定する。  
中止決定後連絡網により速やかに各チームの監督へ連絡する。
- (3) グラウンドの設営と後片付けをする。
  - 《設営》
    - ①グラウンドのライン引き・テントの設置 --- 「当番チーム」
    - ②ネット張り／ゴールポスト／フラッグ---「第1 試合目2チーム」
  - 《後片付け》
    - ①周辺の清掃（チームが持ち帰り忘れたペットボトルやポリ袋等の処理） --- 「当番チーム」
    - ②ネット／ゴールポスト、フラッグの片付け---「最終試合の2チーム」

#### 1 6. 試合運営

- (1) 雷の予兆があった場合は、マッチコミッショナー・審判・当番チーム責任者で協議し判断する。  
その場合の処理は以下とする。
  - ①試合の開始前  
予備日にて再試合とする。
  - ②試合途中  
前半が終了している時は、その時点でのスコアで勝敗を決定する。

同点の場合は、両チームの監督または監督代行の立ち会いの下で当該主審によるコイントスで勝敗を決定する。

但し、前半終了していない場合は、後日再試合とする。

### ③その後の試合再開

雷の音が聞えなくなってから 20 分後或いは客観的な判断のできるツール（通信機器等）により雷雲等の影響がないと判断できる場合は、その試合を再開する。

(2) 雷以外（荒天など）での試合中断の場合は、中断時間 20 分以内の回復がなければ、雷による中止と同じ要領で対応する。

(3) メガネの使用は、プラスチック或いは類似の素材でできたスポーツメガネ以外は使用を禁止する。

(4) 試合中に於けるネックウォーマーの使用を禁止する。（危険防止のため）

## 17. 熱中症対策（最新の埼玉県シニアサッカー連盟熱中症対策や通達を遵守） ※下記は要約

(1) WBGT 値を計測する。（各試合前にマッチコミッショナーが計測し主審に通知し記入する）

※WBGT 値が 31℃以上の場合、マッチコミッショナー・審判・当番チーム責任者が協議し、試合の中止・延期等の措置を取る

(2) 両チームベンチ、本部席へのテントの設置。

(3) 緊急対応用として氷・水を準備する。

(4) WBGT 値に応じて、飲水タイム、クーリングブレイクを取る。

※飲水タイムの判断は MC ミーティングで決定する。

## 18. 表彰

(1) 埼玉県シニアサッカー連盟奨励賞（表彰状、奨励金）

「選手権大会優勝チーム」、「選手権大会準優勝チーム」、「選手権大会 3 位チーム」

(2) 本大会の優勝チームには「JFA 全日本 O-60 サッカー大会関東地区予選会」の出場権を授与する。

~~また、2026 年度については、準優勝チームに「ねんりんピック彩の国さいたま 2026」の出場権を授与する。~~ ←2026/4/23 取り消し線で抹消

### 【補足説明】

2025 年 10 月の運営委員会で選手権準優勝チームを KTFA 関東 O-60 サッカー大会への出場権を授与するとしたが、秋に公式大会が集中しており、今後 KTFA 関東 O-60 サッカー大会が春になる可能性がある。そのため、1 部リーグ優勝チームに同大会への出場権を授与することとした。

(3) 優勝チームと準優勝チームには株式会社 YASUDA よりそれぞれ景品を授与する。

## 19. 緊急連絡

各チーム監督・責任者は、ゲーム等での重大事故・怪我発生時に備えメンバーの緊急連絡先一覧表を試合会場に持参するものとする。

また、各チーム監督・責任者は、自身の重大事故・怪我発生時に備えメンバーに緊急連絡先一覧表の所在を伝えておくものとする。

## 20. その他

(1) 本大会（交流試合も含む）に参加する者は、頭書の目的に則り、良識のある社会人として行動する。万一、不適切な行為があった場合は、原籍チームの代表者、監督を通じ厳重注意を促す。

(2) 本大会要項に規定されていない事項については、運営委員会において協議・決定する。

(3) 埼玉県 O-60 サッカー選手権大会要項は、2026 年 3 月 1 日から施行する。